

# 正信寺保育園

更新年月日:平成23年4月1日

郵便番号	897-1122		
住所	南さつま市加世田小湊8895		
電話	0993-53-9839	FAX	0993-53-9838
ホームページアドレス		Eメールアドレス	syosinji@deluxe.ocn.ne.jp

開設年月	昭和32年10月	入所定員	50名	
敷地面積	2525.33 m <sup>2</sup>	開所時間	6:45~17:45 延長保育 (~18:45)	
建物面積	564.96 m <sup>2</sup> ・【(支援センター) 157.59 m <sup>2</sup> 】	受入年齢	生後6ヶ月~小学校就学時未満	
建物構造	鉄筋コンクリート造平屋建 耐震基準適合建物(08,8,9耐震判定)	職員状況	施設長	1名
設置・経営 主体名称	社会福祉法人小湊福祉会		主任保育士	1名
経営主体 代表者	理事長 音羽文雄		保育士	11名
施設長 職・氏名	園長 音羽文雄		保健師・看護師	0名
			栄養士	0名
			調理員	2名
		その他【支援センター】	2名【4名】	
		総数	17名(21名)	

## 利用可能サービス

サービス名	有無	内 容					
延長保育事業	○	時間	17:45~18:45		備考	おやつ代を含む	
		利用料	月額	2,500円			
			日額	300円			
一時預かり事業	○	時間	1日	8:00~18:00			
			半日	午前8:00~12:00、午後13:00~18:00			
		利用料	3歳未満	1日	1,800円		
				半日	1,000円		
			3歳以上	1日	1,500円		
半日	800円						
休日保育事業	×	時間			備考		
		利用料	日額	円			
障害児保育事業	○	保育園で面接をおこない、集団保育が可能なお子さんを受け入れています。					
放課後児童クラブ (低学年受入事業)	○	児童クラブ名		正信時保育園児童クラブ		定員	若干名
		時間	平日	12:00~19:00		備考	園で給食は供しないので、昼食の必要なときは弁当を持参する。
			土曜・夏休み等	7:00~19:00			
		利用料	月額	6,000円			
			日額	500円			
夏休みのみ	11,000円						
園の開放日	○	随時					
その他サービス	○	地域活動事業(世代間交流・異年齢交流・育児講座)・通園バス運行(加世田地区)子育て支援事業(南さつま市子育て支援センター「こみなとさん家」)					

## 保育所の方針

“新しい時代を担う子どもたちに相応しい施設・設備”  
“思いっきり遊べる広い園庭・遊具”  
“豊かな自然（山・川・海）に恵まれた素晴らしい環境”

本園の保育の特色は「いのちの保育」にあります。「いのちの保育」とは、さまざまな体験を通して「いのち」を感じ、生きとし生けるものすべてに対し等しく障りの無い自由で平等な「いのち」を見出していくことです。乳幼児期は、人間の一生の中で一番大事な時期です。こどもはこの時期に現実の世の中で豊かな人間性を形成し、生きぬいていくための基礎を「あそび」によって築き上げていきます。一人ひとりのこどもを観つめ、のびのびと個性豊かに育てていく中で「ともに生き、ともに育ちあう保育」を実践していきます。

## 保育所の1日

時間帯	保育内容
7：～	順次登園、健康視診、自由遊び（屋外・屋内）
10：～11：15	クラスごとに乾布摩擦・設定保育
11：15～14：00	クラスごとに随時給食準備・給食・午睡
14：30～	おやつ
15：00～	自由遊び（屋内・屋外）・随時降園

## 保育所の年間行事

避難訓練・交通安全教室・誕生会・身体測定・水泳教室（年長・年中児）・おはなし宅配便については毎月実施

月	行事内容
4月	入園式・健康診断・花祭り
5月	こどもの日・園外保育
6月	歯科検診・蟻虫検査・ぶどう狩り
7月	七夕・お泊り保育・プール遊び（8月まで）・園外保育・保育参観・六月燈
8月	盆踊り
9月	園外保育・敬老会アトラクション参加・加世田祭りみこしパレード参加
10月	運動会・観劇・N響ミニコンサート・みかん狩り
11月	こども報恩講・遠足・内科検診
12月	生活発表会・報恩講・餅つき
1月	七草・園外保育
2月	節分
3月	ひな祭り・お別れ遠足

## 施設長からの一言

幼児期の子どもたちにとって一番大切なことは、のびのびできる豊かな環境のなかで心に深く残る経験（あそび）をいっぱい積むことです。

正信寺保育園は、子どもたちひとりひとりの側に立ち、ご家庭の方々と一緒になってこどもの成長に寄り添いながら、「あそび」を通して、個性豊かで自尊心をもてるこどもに育てることを課題にしています。

本園のあそびは、こどもが自分を認めていく活動として位置づけ、屋外（園庭 2000 m<sup>2</sup>・隣接農園 600 m<sup>2</sup>）では思い思いの季節に応じた動植物の採集、飼育、観察、栽培、収穫などの自然体験やゲーム、ごっこ遊び、屋内では 120 m<sup>2</sup>の空間でのコーナーあそびが中心となります。あそびの選択肢を拡げること努めています。

職員は「明るく温かみのある主体的存在」として、こどもや保護者にかかわれるように研修しています。

※10年度の苦情の受付はありませんでした。

## その他

【法人の沿革】前理事長音羽祐雄が、イリコ製造釜への幼児転落死亡事故を契機に、乳幼児の保護と仏教精神を基盤にした幼児教育を実践すべく、昭和 32 年 10 月 1 日に宗教法人立として設置認可を受け、小学校の旧校舎を譲り受けて園舎を建設し、翌 33 年 1 月 1 日事業を開始した。当初定員は 50 名であったが、需要に応えるため昭和 37 年 5 月 1 日付で 60 名の認可を得た。その後園舎が老朽化し、移転改築を行うため昭和 50 年 3 月に社会福祉法人の認可を得て、52 年度事業として昭和 53 年 2 月 20 日に現園舎は竣工した。平成 3 年度より平成 21 年度までは定員 45 名で運営し、平成 22 年度からは定員を 50 名に変更して現在に至っている。地域子育て支援センター事業は平成 21 年 4 月 1 日開設した。

